

平成 25 年度の当初予算を審査

予算特別委員会 Q & A

平成 25 年の第 1 回定例会が 3 月 4 日から 25 日までの 22 日間の会期で開かれ、平成 25 年度の当初予算を中心に 48 件の議案について審議しました（審議結果 8 ページ）。

その中で、25 年度の当初予算（全 10 会計）を審査するため、予算特別委員会を設置し、3 月 8 日、11 日の 2 日間にわたり、同委員会を開催しました。委員会での主な質疑応答の内容についてお知らせします。



全議員で構成される予算特別委員会

市政全般・市民生活・消防

借入金・交付金 25 年度の状況は

Q. 25 年度一般会計の一時借入金の最高額（限度額）が 10 億から 20 億に増額された理由は？

A. 積極型の予算を計上したことによる一時的な収入の不足に対応するため。

Q. 25 年度歳入の国有資産等所在市町村交付金のうち防衛省分が 28 億 67 千円減額されているが、その理由は？

A. 自衛隊が関係している住宅（雷神官舎、野田官舎、下吉影官舎）等及び住宅の土地に対して交付されるもので、建物については償却が進んでおり、価格の下落等により算定の価格が下がったことによるもの（積算は防衛省が行っている）。

Q. 本市で借入予定の合併特例債 135 億円の現在の借入状況は？

A. 24 年度末で借入れの同意を得ているのが 74 億 8,540 万円。25 年度の借入れ予定額が 26 億 8,110 万円。25 年度借入れのうち合併振興基金造成のための借入れ

が 6 億 6,500 万円あり、その分を除くと、25 年度の借入れは 20 億 1,610 万円。24 年度借入れ額と 25 年度借入れ予定額の合計は 95 億 150 万円となる見込み。

公共交通ネットワークシステム

Q. 新規事業の合併特例推進事業の目的は？

A. 子どもから高齢者まで、全ての人が気軽に楽しく外出できる社会の実現に向けた公共交通ネットワークシステムの構築を目指すもので、超高齢社会の到来に伴う移動手段の確保を図る。

Q. 25 年度事業の概要は？

A. 試験的な巡回バスの運行と、その検証調査事業を行う。

Q. これまでの法定協議で決まったことは？

A. 小型バス 2 台で、市内を巡回し、平日のみの運行で、1 日 6 便と決定している。利用料金は、1 乗者 200 円。1 日フリー券 500 円。割引は 65 歳以上、障がい者と介助者、学生以下が半額となる。

合併振興基金？・・・合併後の市町村が、地域住民の連携強化又は、地域振興を目的に設ける基金のこと。本市では、今後 3 年間、毎年約 7 億円を積立て、合計約 21 億円の積立てを予定している。

総合型地域スポーツクラブ?・・・幅広い世代の人々が各自の興味関心、競技レベルに合わせて、さまざまなスポーツに触れる機会を提供する、地域密着型のスポーツクラブ。

Q. 実証運行の開始時期と期間は?

A. 再度、地域公共交通会議を開催し、バス停の設置、運行事業者を決定し、早くても10月ごろになる予定。実証運行期間は3年間を予定している。ただし、利用状況やアンケート調査の結果しだいでは、その限りではない。

消防資器材の交換

Q. 各地区に設置されている消火栓ホースの交換はどの程度進んでいるのか?

A. 調査をしたところ古いホースが850本程度あり、23年度から毎年120本ずつ古い消火栓ホースの交換を行い、現在240本の交換が済んでいる。

Q. 万が一のことを考え、予算を一括して取り、全ての消火栓ホースを一年で交換できるようにできないか?

A. 決められた予算でやっているのですが、今後も計画的に交換を進めていくのでご理解いただきたい。
○なるべく全ての交換が早く終わるように計画していただきたい。

Q. 自衛消防の数は?

A. 美野里地区に29ある。

Q. 小川地区の上合と佐才にも自衛消防があり、現在、地域振興課所管で補助を受け、資器材は一切補助がない状況にある。同じ自衛消防なのに美野里地区の29の自衛消防と同じように消防署から運営補助が受けられないのか?

A. 地域振興課と協議し、一本化を進めていく。

Q. 自衛消防運営補助事業費で自衛消防団の資器材の購入はできるのか?

A. 要請があれば補助の対象になる。古いもので各地区の区長から申請があったものから補助対象としている。



太陽光発電システム補助 昨年度の2倍の当初予算を計上

Q. 今年度、太陽光発電システム補助金が600万円と昨年の2倍になっているが?

A. 24年度は、1kw.当たり3万円(上限10万円)の30件分を予算計上したが、申請件数が多かったため補正で対応した。25年度は60件分を計上した。

Q. さらに申請が多い場合は?

A. 実状に合わせて検討する。

男女共同参画について

Q. 男女共同参画を推進する予算が非常に少ない。男女参画のしつかりとした方針の中で、職員を配置し、経費を増やしていただきたい。女性の課長をもっと増やしていただきたい。

A. 予算イコール取り組み姿勢ではないので、ご理解いただきたい。女性の管理職への参画についても十分に検討していく。

教育・福祉・医療

希望ヶ丘公園リフレッシュ シユ工事

Q. 希望ヶ丘公園リフレッシュ工事の内容は?

A. 老朽化した遊具の撤去・新設と同時に、設置場所を移動する。

Q. グランドの水はけが悪いが、その改修は?

A. 国の事業を活用しているため、今回のリフレッシュ工事には含めることができない。今後、予算を確保しながら進めていく。

NPO法人小美玉スポーツ クラブの活動

Q. 総合型地域スポーツクラブと市が連携して実施する事業は?

A. これまで市主催で実施していた「プレすぽ〜つ教室」「ヨガ教室」など6教室を、25年度は、総合型地域スポーツクラブが、対象者や実施場所を増やすなどさらに拡充した形で開催する。また、中学校の部活動への講師派遣を予定している。

Q 小美玉フットボールアカデミーの現況は？

A 4月に、「地元を愛し、地元で愛される選手の育成」を目的として、中学生年代の女子を対象とした全寮制の女子サッカースクールを開校する。アカデミーへの入校募集の結果、13名の入校予定者のうち9名が寄宿生活となる。残り4名は、週末のみ寄宿し、平日は通いで練習に参加することになる。



目指せ！なでしこジャパン

**外出支援サービス事業
(タクシー券配付)**

Q 外出支援サービス事業の内

容は？

A タクシー券（初乗り運賃・年24回分）を交付するもの。平成25年度から、サービス利用対象者を拡大する。1人暮らし高齢者などに限定せず、運転免許証をもっていない70歳以上の方なども対象とし、目的も自由に選定できる。

こころの体温計

Q 平成25年新規事業の「こころの体温計」とは？

A 簡単にメンタルヘルスチェックができる機能。市のホームページや携帯電話でアクセスして、質問に答えながら本人や家族のこころの健康診断ができるもの。

Q こころの問題を抱えている方に対する市としてのケアは？

A 市内3カ所の保健センターにおいて、定期的に「こころの健康相談」等の事業を実施している。その他、県等とも連携し対応していく。

スクールソーシャルワーカー増員

Q スクールソーシャルワーカー

の業務内容と配置状況は？

A 不登校や引きこもり、いじめ問題など、問題を抱える子どもたちやその保護者の相談にのり、改善していくもの。現在は、1名が週2回各学校及び幼稚園を訪問しているが、相談内容が複雑化し、件数も増えているため、25年度は1名増員して対応する。

都市建設・産業経済

秋には見事なコスモスを

Q 花の香る里づくり事業費が減額されているが、その理由は？

A 土壌の復元工事が3年目になり、有識者と相談して肥料を減量したことによるもの。

「空の駅」整備事業

Q 「空の駅」建設により、茨城空港ビルとの競合や周辺商業施設への影響はないのか？

A 「空の駅」は地域再生の拠点づくりであり、その趣旨を貫く。茨城空港と空の駅の調整について

は、空港ビルを運営している県開発公社とも調整をしながら競合することがないよう、それぞれの趣旨、目的を明確にするなど連携し合い、交流人口を増やしていく。

「大井戸湖岸公園」整備事業

Q 「大井戸湖岸公園」の完成予定時期は？また、正式名称はどのように決めるのか？

A 平成25年度末の完成を目指している。名称については、地区の方、あるいは市民公募等々も考えられるが、まずは地元で相談をかけた、年度内には決めていきたいと考えている。

再編交付金事業

Q 再編交付金事業の防犯灯設置工事にLEDを取り入れては？

A 防犯灯の設置は、平成19年度からの合計で960基を設置した。その内、平成24年度は81基で、全てLEDを使用している。

委員会 Q & A

各委員会で付託された 35 議案を審査

本会議で付託された 35 件の議案について、3月13日から15日にかけて行われた各常任委員会で審査しました。主な質疑応答の内容をお知らせします。

総務

将来の交付税減額等に備え「合併振興基金」を設置

Q. この基金の用途は？

A. 市民の連帯強化を目的としては、ふるさとふれあいまつり、産業祭、文化祭、体育祭、市民の日等のイベント事業や各行政区で行う敬老会への助成など。また、地域の振興を目的としては、公共交通バスの運行事業、地域のコミュニ

ティ活動や自治会活動の助成費用、商店街の活性化、花いっぱい運動、環境保全美化運動、交通安全対策や防犯対策、消防団活動への助成等にこの基金を充当できると考えている。

Q. 合併当初から、合併特例債が基金として活用ができたのに、今ごろになぜ設置するのか？

A. 平成18年度末に、合併特例債を活用した基金のうち、償還が終わった分の元金を取り崩してソフト事業に充当できるようになり、基金が活用しやすくなった。また、平成28年度から地方交付税の減額が予定されることから、基金を設置するものがある。

文教福祉

災害見舞金等支給条例を制定

Q. 新たに制定する災害見舞金等支給条例の内容は。

A. 大きな災害の場合は、被災者生活再建支援法や市の災害弔慰金の支給等に関する条例により見舞金等が支払われるが、当条例は、これらの適用を受けない小規模の風水害、震

災、火災等の災害により被害を受けた市民に対し見舞金等を支給するもの。例えば、火災で居住する家屋が全焼した場合は、1世帯10万円を支給するなど、詳細な規定が定められている。

竹原小学校改築工事スケジュール

Q. 竹原小学校の改築工事が始まると思うが、今後のスケジュールは。

A. 平成27年2月完成を目標に、今年6月から7月にかけてプールの解体を行う。その後、仮設校舎を建設し、現校舎を解体してその跡へ新校舎を建てる計画を進めている。

Q. 新築する校舎の概要は。

A. 構造は、鉄筋コンクリート3階建て。各学年2クラス分の教室数と、特別教室を確保し、さらに太陽光発電を設置する予定で進めている。

小美玉医療センターの指定管理者「古宿会」に移行

Q. 指定管理者の引継ぎが発生するが、中でも入院患者等の引継ぎはどうなるのか。

A. 引継ぎについては、旧管理者「幕



国道6号沿い 花だんの植栽作業
(竹原地区コミュニティ)

茨城空港テクノパーク?・・・「茨城空港」と隣接している37ヘクタールの準工業地域(予定)で、茨城県と小美玉市が協力して企業誘致活動を行っている。



新たな管理体制で (小美玉医療センター)

産業建設

「空の駅」整備事業関連

内会」と、新管理者「古宿会」及び市で十分に協議検討した。3月31日に新旧指定管理者の引継ぎ並びに医療機器の入替えを行うため、医療行為が行えない状態になる。外来患者は、日曜日で休診のため問題ないが、入院患者は、医療行為ができない中で入院していることに問題があり、転院していただくことなどをお願いしている。3月31日には入院患者数をゼロにして次期指定管理者に引き継ぐことになる。

○入院患者の意向を一番に尊重し、不安を与えないよう、スムーズな移行をお願いする。

Q. 乳製品加工施設の設置及び管理に関する条例に、施設使用料の減額基準、増額基準が定められているが、幅をもたせる理由は?

A. 使用者の営業努力等で収益の増収、減収になった場合には基本料金の変更はない。BSE問題・鳥インフルエンザ問題等の環境の変化による減収や、予定集客数を大幅に上回るなどの理由による増収等、あくまで使用者側に責がない部分での収益増減時の対応として規定している。

Q. 地域再生拠点施設設置及び管理に関する条例の、各施設の月額使用料は妥当か?

A. 全体事業費、補助金、耐用年数、施設面積等により算出し、妥当な金額と考えている。

Q. 利用者のために年末年始も開業したほうが良いのでは?

A. 今後、使用者と話し合い決めていきたい。

Q. 「空の駅」オープンを一度延期しているが、今回締結する工事請負契約の工期は大丈夫か?

A. 工程管理、工事管理を徹底し、契約工期11カ月内の完成に努める。

Q. 建築工事の第1回目の入札が不調になった理由は?

A. 第1回目の入札の参加申込みが2社だったため、入札を取りやめた。申込みが少なかった理由は、企業が利益率の高い工事を選択して応札に臨んでいることや、技術者削減等のため受注する工事を選んでいることが考えられる。

Q. 建築工事を地元業者育成のために分割発注すべきだったのでは?

A. 今回、「空の駅」建築工事を一括発注した理由は、施工管理や経費の面で有利性があるため。今後の外構工事、交差点改良工事、植栽等は地元業者をお願いしていきたいと考えている。

広域幹線道路の進捗状況

Q. 栗又四ヶ線の用地買収進捗状況は?

A. 地権者38名のうち29名の方と契約をいただいている。面積ベースで81・8%の確保状況となっている。

企業誘致

Q. 茨城空港テクノパークの状況は?

A. 県の開発事業である茨城空港テクノパークは、本市においても全国の企業に対してアンケート調査を行うなど誘致活動を行っている。アンケートの結果では13社が興味を示しているため、今後も県と協力し誘致活動を進めていく。

